



嵐山渓谷バーベキュー場であそぶ子どもたち

令和6年 第2回定例会

傍聴者
40人

- ◆ 議会報告会・意見交換会/児童生徒意見発表会 P 2~ 3
- ◆ 第2回定例会報告・第1回臨時会報告 P 4~ 5
- ◆ 一般質問11人が町政を問う P 6~13
- ◆ 常任委員会・一部事務組合報告/議員会研修 P14~15
- ◆ 議場開放/編集後記 P16

議員が編集した手づくり議会だよりです。こちらからご覧になれます。→



第24回

議会報告会・意見交換会

5月18日（土）午後1時30分～ 町民ホール 参加者数 10人



『防災対策について』

- ・町の防災計画の実践と避難所運営訓練が重要
- ・アマチュア無線の活用や消防団との連携が大事
- ・防災計画策定や意思決定過程で女性の参画が必要
- ・町の業務継続計画（BCP）の策定状況を確認
- ・防災倉庫の備品を活用した防災訓練の実施
- ・防災倉庫の在庫リストを作成する
- ・個人でも備蓄の意識を高める啓発が必要
- ・鎌形地区北部の救急対策として、ラベンダー園の駐車場をドクターへリの発着場所にしてほしい
- ・災害時の通信手段として、資格不要の無線機を区長に配備しては

『豊かな老後とは？！』

- ・年金だけでは不安
- ・高齢者の生活環境を改善するため、地域交通の確保や草刈り、空き家対策などが課題
- ・老後の生活設計が重要。定年前から準備できるよう、啓発活動を行う
- ・高齢者のコミュニティ形成や居場所作りを支援するため、空き家や空き店舗を活用
- ・高齢者の社会参加を促進するための取り組みを実施する
- ・病気予防・健康維持のために運動を欠かさない
- ・町の健康体操教室に75歳以上の参加を要望する
- ・健康体操教室と講習会を別に考えて欲しい
- ・家の周辺が太陽光発電予定地になっていて老後が不安
- ・町内巡回バスの増便又は巡回車の検討を



議会報告動画
と報告書
はこちらから

【議会報告会でのご意見】

- ・小中学生の意見表明や、子育て世代の親子が参加できるイベントを計画してほしい
- ・議員と意見交換できる貴重な機会なので時間を増やしてほしい
- ・周知や発言方法を考えてうれしい
- ・少人数で意見交換できた方が気楽でいい
- ・広報やホームページに意見を反映してくれると行政に興味が持てる
- ・いろんな方法で意見交換会をしてほしい
- ・グループ別の意見交換は良かった



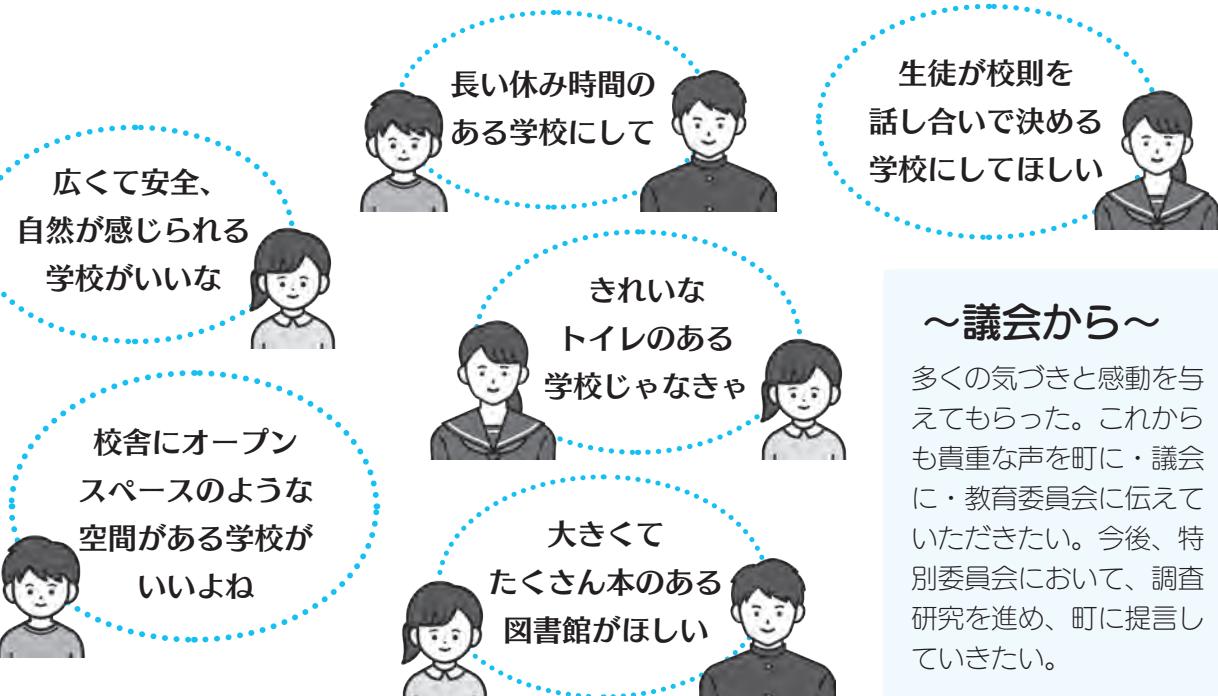
ご参加ありがとうございました。ご意見・ご要望は委員会で検討し、町の執行部へ依頼します。

嵐山町立小中学校再編調査特別委員会

4月25日の第1回臨時会において設置された嵐山町立小中学校再編調査特別委員会では、5月18日（土）に開催された児童生徒意見発表会を傍聴しました。



未来の学校 とどけ！ 私たちの意見！



Q お金はどれくらいで、どこから用意するの？

A 約58億円かかる見込み。29億円は国からの補助金、残りの29億円は町で用意します。今、町には4億円貯金があるので、25億円を借りて、30年間をかけて返していく予定です。

Q 統合後、玉ノ岡中の校舎やグラウンド、体育館はどのように利用されるの？

A 町民の皆さんからも意見やアイデアを出してもらい検討していきます。

Q 新しい学校の開校記念日に町全体で行なう事ができたら良いな。開校記念日の予定は？

A 小・中学校とともに、令和11年4月1日に開校する予定です。町全体で楽しめる記念行事を行なうと考えているので、どんな行事がいいか皆さんも考えてほしい。

物価高騰対応重点支援給付金

非課税・均等割のみ課税となる世帯に給付

定額減税の実施のため

令和6年 第2回定例会

(6月4日～6月12日)

主な議案

議案第34号
令和6年度嵐山町
一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ
2億3247万円追加
総額66億3247万円

主な歳入
国庫支出金
物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金
1億7928万円
基金繰入金
財政調整基金
ふるさとづくり基金
2000万円
748万円

主な歳出
物価高騰対応重点支援給付金支拂事業
令和6年度非課税化等
一世帯10万円5000世帯分
5万円50人分
5000万円

（こども加算
5万円50人分
5000万円）

調整給付 一世帯5万円
2500世帯分
1億2500万円

新型コロナワイルスワクチン接種対策費助成金
予防接種医師委託料
3799万円

Q 個人負担は
1人あたり3000
円の予定である。

A 農業用施設整備事業
ため池土地権利者追跡調
査業務 510万円

中学校施設改修事業
玉ノ岡中学校トイレ洋式
化工事 1基・74万円

スポーツ施設管理事業
総合運動公園グランド放
送設備の修繕 199万円

議案第35号

令和6年度嵐山町
国民健康保険特別
会計補正予算

歳入歳出それぞれ
314万円追加
総額18億7094万円
マイナンバーカードと健

康保険証の一体化に伴つ
システム改修等

報告第1号
令和5年度嵐山町
一般会計繰越明許
費繰越計算報告

駅西口地区整備事業他12
事業

A 道路、駅西口工事の
用地交渉や施工上
の問題のため。
Q 遅れの理由は



今年度完成予定の駅西口

A 残土処理等のため工
期開始に遅れが出た。

Q 工期遅れの理由は

報告第4号
令和5年度嵐山町
下水道事業会計予
算繰越の報告

歳入歳出それぞれ
314万円追加
総額18億7094万円
マイナンバーカードと健

令和6年
第1回臨時会
(4月25日)

承認第1号
嵐山町税条例の一
部改正

定額減税にかかる規定の
新設等

承認第2号
嵐山町国民健康保
険条例の一部改正

課税限度額の引き上げ等

発議第6号
嵐山町立小中学校
再編調査特別委員
会を設置すること
について

小中学校再編に伴い、教
育保障・地域振興・財政
計画等を調査研究するこ
とを目的とする。

委員長 勝義
橋本 将

第2回定例会 町長提出議案審議結果 (賛否の分かれた議案)

賛否はこちらで
確認できます

| 議案番号 | 議案名 | 審議結果 | 佐藤弘美 | 竹内隆哲 | 橋本将 | 宮本大裕 | 狩守勝義 | 小林智 | 藤野和美 | 吉本秀二 | 青柳賢治 | 畠山美幸 | 川口浩史 | 渋谷登美子 | 森一人 |
|--------|--|------|------|------|-----|------|------|-----|------|------|------|------|------|-------|-----|
| 議案第29号 | 嵐山町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて | 可決 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | × | ● | ● | ● | × | × |
| 議案第30号 | 嵐山町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて | 可決 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | × | × |

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します（「裁」と記載）。

| 議案番号 | 議案名 | 審議結果 | 佐藤弘美 | 竹内隆哲 | 橋本将 | 宮本大裕 | 狩守勝義 | 小林智 | 藤野和美 | 吉本秀二 | 青柳賢治 | 畠山美幸 | 川口浩史 | 渋谷登美子 | 森一人 |
|--------|---|------|------|------|-----|------|------|-----|------|------|------|------|------|-------|-----|
| 発議第7号 | 地方自治の自主性・自立性が守られることを求める意見書の提出について | 否決 | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 発議第8号 | 女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書の提出について | 否決 | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 発議第9号 | 障害者・介護保険要支援・要介護等の人の移動支援の確立を求める意見書の提出について | 可決 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 発議第10号 | 教員の長時間労働改善には残業代支給が必須なため、残業代支給を求める意見書の提出について | 否決 | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 発議第11号 | 企業・団体献金を全面禁止にすることを求める意見書の提出について | 否決 | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 発議第12号 | 聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書の提出について | 可決 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

議員提出議案

地方自治法第99条の規定により、国（県）への要望・意見を、意見書として提出することができま
す。今定例会では2件の意見書が可決されました。

障害者・介護保険要支援・
要介護等の人の移動支援の
確立を求める意見書

2011年の障害者基本法

改正後も、現状では移動支援の法制度化がなされていない。また介護保険法においても、移動支援に関する事項がない。移動は生活の自立と社会参加の基本的手段である。障害者や要支援・要介護者に対して、それぞれの障害特性に合わせた移動支援と、負担の少ない費用、専門的な支援を行う人材育成を求める。

提出先
交通大臣
衆議院議長 参議院議長
総理大臣 厚生労働大臣
国土 内閣

可決意見書（要約）

聴覚補助機器等の積極的な
活用への支援を求める意見
書

提出先
衆議院議長 参議院議長 厚生
労働大臣 内閣府特命担当大臣
総務大臣

意見書全文はこちらから
確認できます

11人が町政を問う

一般質問



一般質問は、町の行財政全般にわたって、町に対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。(持ち時間1人100分)

各議員の一般質問の動画は、写真下の二次元コードをスキャンするか、「YouTube嵐山町議会」から検索してご覧ください。

防犯対策について



宮本 大裕 議員



| | |
|---|---|
| 問 | 一般住宅への侵入強盗などの手口が巧妙化・凶悪化し、防犯対策の強化が急務。本町犯罪発生の現状は。 |
| 地 | 令和5年小川警察署管内刑法犯認知件数340件・34増▼本町133件・14増窃盗犯232件・45増▼本町96件・22増住宅侵入20件・11増▼本町6件・4増 |
| 問 | 町の防犯対策は。 |
| 地 | パトロール資機材配布・ナイトパトロール・青色防犯パトロール・防犯灯設置・防災無線周知・小川警察パトロール依頼。 |
| 問 | 啓発活動は。 |
| 地 | 広報紙・防犯キャンペーン等。 |
| 問 | 防犯カメラ設置数は。 |
| 地 | 駅東西連絡通路7台・駅ロータリー2台。嵐なびにモニターとレコーダーを設置、まちづくり整備課が管理。 |
| 問 | 管理方法は。 |
| 問 | 防犯カーメラ設置数は。 |
| 地 | 駅東西連絡通路7台・駅ロータリー2台。嵐なびにモニターとレコーダーを設置、まちづくり整備課が管理。 |
| 問 | 区や個人宅への設置や助成の考えは。 |

介護保険制度の現状と課題



橋本 将 議員



| | |
|---|--|
| 問 | 介護事業所、介護者の労働環境の現状は。 |
| 長 | 町内4事業所にの名のケアマネージャーがいるが、約半数の事業所で人手不足。入所施設がより不足している状況。 |
| 問 | 人手不足を補う為に介護職員の負担軽減対策はどうされているか。 |
| 長 | ある事業所ではベッドにセンサーを取り付けて介護者の夜間の状態を見守れるようになっている。今後も必要なデジタル化は推奨したい。 |
| 問 | 介護保険は町が7～9割費用を負担する制度。事業所が適切なサービスを行っているか把握しているか。 |
| 長 | 2か月に1回程度、ケアマネージャーを含め事業所と話し合いを行って連携や情報共有をしている。 |

議会を傍聴してみませんか

全体を通して誠意のあるやりとりが行われており、初めて知ることも多く、大変勉強になりました。(6月定例会のご意見より)



傍聴者からの要望で
ゲルクッションと荷物入れを用意しました。数量限定です。

本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひ傍聴にお越しください。一般席30席、車いすのまま傍聴できるスペースや親子傍聴席が2部屋あります。

傍聴を希望される場合は、2階議会事務局で受付を済ませてから議場に入場してください。



道の駅はなぞの・ひだまりの公園=R6.6.17

地 全町的な設置の方針はなく、補助の考え方もない。警察から「挨拶を徹底すれば犯罪は減る」と指導を受けている。他に妙案がない。

問

『防犯カメラ付き・みまもり自動販売機』

を設置しては。既に深谷市・寄居町・東松山市・川島町・坂戸市等で設置。高さ120cm搭載高性能小型カメラは顔を識別しやすく、夜間もカメラで撮影。カメラ代や維持管理、運用全般を業者が行い、画像は暗号化し専用PCのみ閲覧可能。町の負担は少ない。学校周辺、パトロールセンター等への設置は可能か。

町長 民地との関係もあり調査が必要。

丁寧に調査してしつかり検討する。

嵐山町障害者フラン



福 新規の就労選択支援とは。

福 利用希望者から申請を受け、能力や希望に合った特性を生かし支援する。令和7年10月から就労継続支援A型を利用しようとする方は就労選択支援を利用する事ができる。

福 障害者の家族支援も重要。支えとなるような活動はあるか。

福 文化活動やスポーツイベント等を通じ連携し支援していく。作品を展示しているギャラリーとアート展を開催したりしている。

地 地域支援課長

福 福祉課長

町が消滅可能性自治体から脱却したことについて



吉本 秀二 議員



問 前回と比較した若年女性推定人口より10.8%改善した結果の分析は。

地 花見台工業団地に雇用の場があること、区画整理事業で優良住宅用地が提供できたこと、また、外国人の増加も一定程度寄与している。

問 若年外国人女性は、推計人口に寄与するが、出生率ではマイナス作用になる。その中で、自然増減から見た封鎖人口推計や転出、転入人口から見た移動仮定人口推計における若年女性人口の減少率が30年後50%を下回っていることは大変評価できるが、今後の取り組みは。

町長 結果に一喜一憂しないで施策を進めて下さいといつ一般質問であったと思うが、同感である。学校給食費を第1子からの半額補助に拡大、また、今までの公園概念と全く違う駅西公園に整備した。子育て世代から町を評価しているだけのモデルケースになると思っている。これからも、子育て世代から嵐山町に関心をもつてもらえ、出生率につながるような施策を緩めることなく進めていきたい。

児童生徒意見発表会について



箕守 勝義 議員

問 開催の経緯と目的は。

教 学校統合事業は、保護者アンケートの実施、地域住民・保護者・教員等による再編等審議会の設立、審議会答申に基づいた基本計画の策定、説明会の開催と進めてきた。学校統合事業が基本計画から基本設計へと進むこの局面で意見発表会を開催する一ことに、子供の声を学校づくりに反映できると考へ開催した。目的は、学校統合に関し明るい展望を持たせること、いじめも基本法に則り、自分たちの意見が言えることを学ぶこと、生権者教育の視点である。

問 議場での児童生徒の様子と終了後の感想は。

教 初は緊張気味だったが、次第に緊張も解け、どの児童生徒も堂々と立派に発表できたと感じている。発表会後の感想文から「楽しかった」「他の学校の発表を聞いて発見があった」「新しい学校が楽しみ」といった声がたくさん届いている。

学校トイレの洋式化は



渋谷登美子 議員

国立女性教育会館の国との協議は

問 町、国、県との協議について聞く。

地 3月7日、27日、5月10日に内閣府・文科省、国立女性教育会館、埼玉県、嵐山町で、町の利用実績等を協議。施設の整備計画は議題に上がっていない。

問 町から移転せずとも、オンラインで対応可能であるが、要請を。

町長 1月19日、県庁でも申し入れたが、現在のデジタル技術を用いれば嵐山町で機能強化は可能である。引き続き申し入れる。

問 女性支援法が4月1日から施行されている。様々な立場の女性、障害のある方等、利用者の意見の反映のシステムの提案を。

地 今までには全て町の利用についての質疑と回答である。今後の展開で要請していく。

教 教育総務課長

問 小中学校トイレの洋式化の予定は。



災害避難所について

成果と課題は。

成果は、所期の目的が十分達成できたことだと考えている。課題は、子供と学校へ相当な負担をかけてしまつこと、また、意見発表会の教育課程への位置づけをどうするかということである。

今後も継続的に年に一回程度開催する考えは、課題も含め、内容と教育効果を精査しながら必要に応じて検討していくつもりだ。

地 避難所「」との運営マニュアルはあるのか。
地 平成31年に策定、以降修正を加えていく。
地 避難所「」に必要なものではないか。
地 避難所「」との運営レイアウトはある。
地 ホームページで町民に周知すべきでは。
地 公開は考えてなかつたが検討する。
地 学校統合に伴う指定避難所の代替案は。
地 防災会議で議題としたが、今後検討していく。
地 指定避難所のようないく。
問 地震で新聞記者がペットとの避難所の必要性を記事にしていたが、考えは。
地 人とペットの同居は考えていない。
地 分離の形での避難所になる。



避難所開設訓練=R5.12.10



児童生徒意見発表会=R6.5.18

教 6月議会で玉ノ岡中の洋式化工事費用を計上。4月に簡易式洋式トイレ1基2万5千円弱を七郷小に設置。子ども達からは高評価であつた。今後も状況を見ながら必要に応じて改修予定。

クビアカツヤカミキリの被害対応

問 クビアカツヤカミキリの被害が拡大しているが、現状と対応は

環 都幾川桜堤48本、笛吹峠1本、古里7本計56本に被害。古里地区以外に薬剤の注入をした。



ときがわ桜堤土手において、薬剤注入の桜の木=R6.6.13



クビアカツヤカミキリ
(新井浩二氏提供)

マイナ保険証を持たない町民は



藤野 和美 議員



問 町内のマイナンバーカードの普及率と健康保険証としての登録状況は。

町 申請中を含め80・4%であり、国民健康保険では56%、後期高齢者医療保険では50%が保険証として登録されている。

問 マイナンバーカードの取得は任意であり、保険証の交付は100%であるという原則については。

町 その通りである。

問 マイナ保険証を持たない町民への対応は。

町 今までの被保険者証に代わる資格確認証を送付する。

菅谷小中学校周辺の道路に速度抑制の段差を

体育館への空調設置は



川口 浩史 議員



問 体育館は夏暑く、冬は寒いため、大規模災害時の避難はつらいものである。また、児童生徒の使用とともに、健康増進の観点から町民も使用する。夏場は夜でも熱中症を心配しなければならないほど熱がこもる。そのため空調設備の設置が必要である。考えを聞く。

教 全国的にも学校体育館への空調設備の設置が進んでおり、本町においても検討しているところである。

問 いつ頃の設置を考えているのか。

教 菅谷中学校の体育館に来年度以降の設置を考えている。

市街化調整区域の開発行為について



小林 智 議員



問 調整区域の開発には厳しい制限があるが、例外として「観光資源の有効な利用上必要な建築物等」があるが、具体的な運用は。

町 観光資源の概ね500m以内の区域内で観光に資する必要な飲食店等が立地できるが、町では令和6年3月に基本方針となる「観光資源の保護、育成及び開発に関する方針」「観光資源の保護、育成及び開発に関する方針」を作成し、町内14箇所の観光拠点を位置づけた。

ま 1)の規定により観光資源の鑑賞のために必要な展望台等や観光価値を維持するために必要な飲食店や土産物店を含む休憩施設又は宿泊施設が建築可能となつた。

問 12月になると保険証が使えなくなるなどの不安を感じている町民もいるが。

町 7月に今までの被保険者証を全員に送付するが、それは1年間有効である。1年後、マイナンバーカードを持たない方や保険証として登録していない方には資格確認証を送付して、誰



医療機関に貼られているポスター
(出典: 厚生労働省HP)

ひとつの取り残さないよいこだわる。

問 町民が安心できるよう、そのことをしつかり広報すべきでは。

町 取り組んでいく。

転入促進策について

問 町内事業所等に就職・定住する町民に奨学金の返済支援をする考えは。

町長 転入促進策として、その事業を行つ考えはない。

空き家対策は

問 空き家バンクの取り組みは。

環 空き家の中から良い物件を選定し、所有者に働きかけていく。

問 空き家バンクの取り組みは。

環 調査研究していく。

問 相続対策は。

環 「相続おしおけ講座」などを実施していく。

関係機関と協議し、超過している車が多い場合何か対応できるものはないのか総合的に検討しておきたい。

マイナ保険証について

問 マイナ保険証が町内で使える医療機関と薬局はいくつか。

町 町内には27の医療機関と薬局がある。その中で21の医療機関と薬局で使える。

問 カードリーダーが壊れていて、かつ紙の保険証を持参していない場合、診察や薬がもらえないのであるのか。

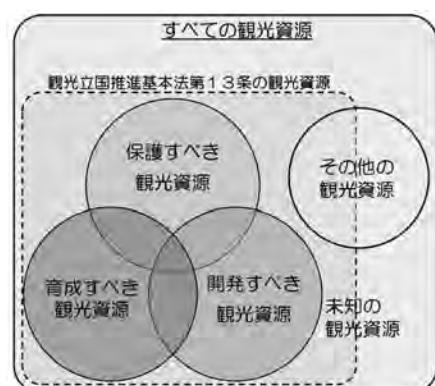
町 停電でカードリーダーが使えないこともあるので、そういう場合も対応してもらえることになっている。



今後空調が設置される菅谷中学校体育館=R6.6.19

等が少ないことから、立地が望まれる」としての拠点は「積極的な開発(立地)を誘導する」とある。具体的な目論見はあるか。

ま 民間が立地・開発するものであり町で具体的に誘致しているものではないが、「方針」ができるとにより積極的な対応が図れるとなる。「積極的な開発(立地)を誘導する」とした嵐山渓谷、嵐山渓谷バーベキュー場、千年の苑の3拠点は、「観光拠点エリア」と位置付けているほか、他の観光拠点での立地についても相談がある場合は積極的に対応を図ることとしている。



嵐山町の観光資源の保護、育成及び開発に関する方針

問 方針では、14拠点のうちの拠点が「飲食店

」である。具体的な目論見はあるか。

町民課長 環境課長

がん患者の生活向上について



畠山 美幸 議員



問 がん患者に対してウイッグ・補整具などの購入費補助について考え方を伺う。

健 埼玉県では、※1アピアフランス用品の購入費用及び、※2AYA世代の終末期がん患者の在宅医療費用を助成する事業整備を新たに今年度より開始する予定であり、町においてもがん患者の経済的負担の軽減を図るため、前向きに検討していく。

※1 アピアランス用品…ウイッグ(かつら)等
※2 AYAH世代…思春期・若年成人世代
(15歳～39歳の間)

問 県の助成額は費用の2分の1、上限5000円といつておどす。町はどうの様に考えますか。

町長 1万円程度で考えている。

公共トイレについて

問 鎌形球場のトイレは、汲み取り式のトイレが2基。男子用トイレは小便器がなく、壁のみである。いつ頃設置されたのか。鎌形球場の町内外の利用状況は。今後の考えは。

(3) (2) (1) いつ頃設置されたのか。
鎌形球場の町内外の利用状況は。
今後の考えは。

西口駅前整備完了を賑わいの創出にて

町長再選の意向は



青柳 賢治 議員

問 再選についての考え方。

町長 財政状況の深刻さを再認識したことから

の出発だった。前職から引き継いだ駅西口整備の推進、花見台工業団地の拡張、学校再編の推進、平沢土地区画整理組合事業も最終段階まで進める等、着実に町政を推進できた。こども医療費無償化の18歳まで拡充、町立幼稚園3年保育の実現、駅西公園の整備等、自主財源の確保にも努め、6年度のプライマリーバランスは約5億2千万円の黒字となる見込みで将来負担比率も大幅に軽減された。しかし、学校再編の実現、川島地区産業団地整備等、課題は山積している。町の更なる発展には「宝」のような人材がまだ足りない。諸課題を解消し、私がやるべきこと、私がやれることをはまだあるとの思いから、もっと多くの町民の方々に安心して暮らしていただける町づくりの実現を進めていきたいと想定している。

問 災害防止等の観点から設置に適さない区域が設定されている。原則、この地域に設置されることはいか。

環 抑制区域は町内全域。災害防止の観点から砂防法第2条及び埼玉県砂防指定地管理条例第2条に指定された区域、地すべり防止法第3条及び第4条に指定された区域及び隣接する区域、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第7条及び第9条に指定された区域、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第3条に指定された区域において

太陽光発電について



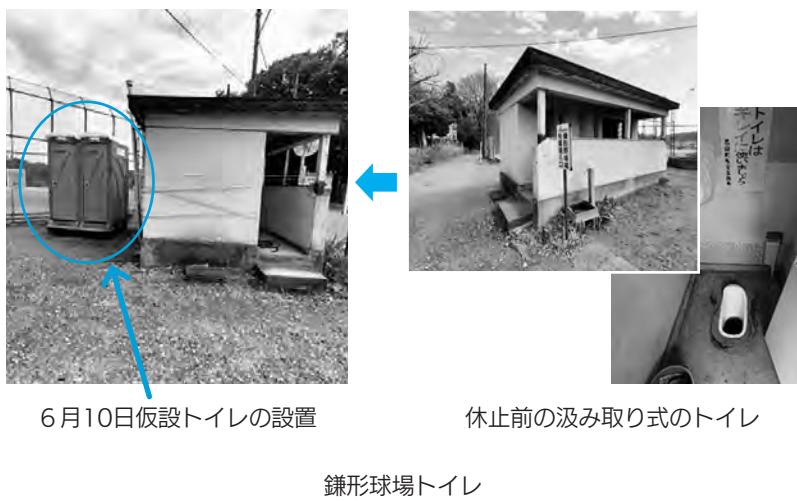
佐藤 弘美 議員

問 新規事業者申請の有無と状況は。

環 申請は事業届出書件数で杉山地区1件、事前相談で鎌形地区2件、吉田地区2件、古里地区3件。杉山地区は、樹木伐採後に文化財の簡易調査を予定しており、問題がなければ、協定書の締結、工事着手届の提出となる。鎌形地区2件と古里地区3件は、関係法令確認状況報告書のみ提出しており、今後、地元協議を予定している。

問 災害防止等の観点から設置に適さない区域が設定されている。原則、この地域に設置されることはいか。

環 抑制区域は町内全域。災害防止の観点から砂防法第2条及び埼玉県砂防指定地管理条例第2条に指定された区域、地すべり防止法第3条及び第4条に指定された区域及び隣接する区域、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第7条及び第9条に指定された区域、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第3条に指定された区域において



生 (1) 風山町営鎌形野球場は昭和57年（1982年）に造成・整備工事を行い、翌年の昭和58年5月より供用を開始している。トイレ施設についても同時に整備したものと推測される。
 (2) 令和5年度の延べ利用団体数は、町内23団体、町外48団体、計71団体で、約3400人の方に利用いただいた。
 (3) 現在の施設は廃止または休止し、仮設トイレに変更する方向で検討している。

問 **いつ頃設置する予定か**

6月10日、仮設トイレ2基を設置した。今後はもう少し良いものを考えていく。



問 **工事完了後に予定する事業・利活用を聞く。**
ま 現在の駅前広場整備は、「武蔵嵐山にふさわしい景観」「賑わいにつながる整備」「交通結節点機能の充実」「防火・防災機能の充実」を整備方針として実施している。広場を大きく取り、大屋根などの設置を行った。観光協会や商工会と連携し、人が集まり、豊かな空間となるよう積極的に利活用を促す。

問 **イベント広場や大屋根の利活用について町民から英知を集めたらどうか。**

今までのプロデューサーなどの協力も得ながら、自主的で自発的な活用を促し、今までとは違う新しい方向で検討する。



では、法律に基づき許可が得られた場合に限り、届出することができる。
問 **事業者から設置地域への電力供給契約や街路灯増設などの申し出がある場合、法的な問題点はないか。**
環 再生可能エネルギー電気の特定の者に対し、利益供与、不当な扱い、不利益を与える行為はしてはならないと規定されており、電気供与契約は法律違反になると考える。街路灯の増設は、協議の中で申し出るとは条例に違反しているないと考える。

問 **条例に反した事業者に対し、罰則規定を設けることは考えていないか。**

環 違反した場合、条例に基づき、内容及び事実を公表し、国や県へ通知できる。また、発電事業認定の取り消し等の行政処分が科せられる。関係法令で罰則規定がされているため、条例で定めることは難しい。

総務経済常任委員会

(3月27日・4月19日・5月15日)

- 未来に向けた町民意見取り入れの仕組みづくりについて
- 地域交通のあり方について
- 地域産業の活性化への取り組みについて

文教厚生常任委員会

(4月5日・19日・5月16日)

- 子どもの権利について
- 外国人の増加に伴う諸課題

子どもの権利について

● 今後の調査方針について協議

各委員から挙げられた16項目の課題を次の2項目に分類し、調査を進めるところで一致した。

・子どもの権利条例に関するもの

・4つの権利（安心して生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利）に関するもの

● 世界の子ども権利かるた実践

絵札を取ることに、関連する権

利条約の条文を示し、全員に周知を図った。一枚ずつ確認することで、効果、活用に対する意見交換を行うことができた。子ども権利かるたは分かりやすく、学校現場、子ども会及び老人会等広く活用できるとの意見で一致した。

● 外国人の増加に伴う諸課題

福祉施設の送迎バスによる買い物ツアーや、スクールバスの空き時間活用、福祉タクシー券とチケット交通の課題等の意見交換を行い、今後視察を検討することとした。

地域交通のあり方について

地域産業の活性化への取り組みについて

嵐山町商工会から町の商工業の状況と商工会事業、行政への要望についてヒアリングを行った。

未来に向けた町民意見取り入れの仕組みづくりについて

【提
言】

要旨

①「若者会議」は、自由な意見交換の場の提供を行い、未来に向けた町民意見の取り入れの仕組みとして、町に相応しい仕組みづくりに取り組むこと。

②SNS等を双方向の意見聴取の方法と位置付け、積極的に活用する。子ども議会やタブレットPCを利用した意見の汲み上げ、大妻嵐山高校とのコラボや町内高校生のイベント参加促進等により、率直な意見

聴取や町・町政への理解を深める場の提供を進めていくこと。

③区長会や各種団体との協議等において、双方の意見交換を行い、意見・課題を行政全体で共有し、課題の解決・改善を行う仕組みとすること。

④「町民の声BOX」「かんたん電子申請」「町のご意見箱」「パブリックコメント」等の役割と特性を明確にして積極的な活用を行い、結果について必要な範囲で公表を行うこと。



かるた実践の様子 = R6.4.19

・学校（取組み、受け入れ態勢の整備、困りごとの状況等）
・治安（犯罪、自転車事故等）
・健康・医療（医療・福祉等の実態）
・民課および地域支援課から現場の課題を聞くこととした。

小川地区衛生組合議会

●議案第6号 小川暮れ亮治氏（小川町副町長）副管理者の選任について

5月31日（金）令和6年第1回臨時議会が小川町議会議場にて開会され、提出された議案1件は原案通り可決されました。

広聴部会

町民の声を広く聴くため、区長会役員との意見交換会を行つた。



意見交換会の様子=R6.5.22

議員会研修（5月10日）国立女性教育会館又エックにて

講 師：萩原なつ子氏（国立女性教育会館理事長）

研修は、「こんな町が良い」「あつたら良いな」をテーマにワールドカフェ方式で行い、以下のような意見を出し合いました。この方式を今後も議会活動に活かしていきます。

※ ワールドカフェ…ディスカッションや会議などに用いられる話し合いの手法であり、カフェのようにリラックスした雰囲気の中、4～5人のグループで話し合いを行います。多様な意見が集まりやすく、参加者同士の信頼関係も深まる方法です。



萩原なつ子氏（右）

思いついたことを
付箋に書き出して
ください！

殻を破る政策立案を

公園整備



若者が集う場

次の農業をつくる

子育て支援

買い物バス運行

歴史を守る

健康年齢の
増進



女性が集まる場を
つくる

議場を自習室として夏休みに一般開放します！

嵐山町議会初めての試みとして議会議場の解放を実施いたします。

静かで空調の効いた解放感のある議場で有意義に学習をしていただけたら幸いです。

期 間：8月1日(木)から9日(金)まで (土日除く)

※議会で利用予定がない日・時間帯に限ります

時 間：午前9時から16時30分まで

事前予約不要 利用当日議会事務局窓口（2階）にて受付

対 象：町内在住の中学生以上の生徒、学生



嵐山渓谷バーベキュー場・らんざん都幾川学校橋広場に来てね！

嵐山渓谷バーベキュー場で
夕方まで遊ぶ



学校橋広場は
オートキャンプで宿泊



嵐山町観光協会公式
サイトはこちら

次回の定例会は 9月13日(金)開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしています。
請願・陳情は 9月 5日(木)午後5時までに提出してください。



今年のラベンダーまつりは、梅雨時にもかかわらず、お天気に恵まれ、雨傘を差すこととはほとんどなく、日傘や帽子が必要でした。連日真夏日が続いたためラベンダーも日焼けが目立ちました。そのような状況でも摘み取りラベンダーは大人気でスタッフの方々のご尽力に感謝します。自然相手の観光事業は年々温暖化が進む中厳しい状況になつていくでしょう。関東圏で10ヘクタールもの規模で実施しているところは嵐山町だけであり、みんなの知恵で守っていきたものです。（畠山）

編集後記